

海外日本人学校から愛知県の公立高等学校を受検する皆さんへ

1 出願について

海外日本人学校を卒業した者または平成31年3月に卒業見込みの者であることなどが条件です。

2 願書等の出願に必要な書類の請求方法について

11月下旬以降に出願に必要な書類及びその記載方法について説明した「愛知県の公立高等学校を県外から受検される皆さんへ」を配付いたします。11月以降に高等学校教育課（052-954-6786）まで電話で御連絡ください。請求方法を御説明します。

3 学校選びの方法について

愛知県の公立高等学校の詳しい情報は「公立高等学校ガイドブック」に掲載されていますので、学校選びの参考にしてください。購入方法については、「愛知県教育振興会」（052-961-8501）にお問い合わせください。

また、インターネットに掲載しております「探そマイ！スクール」でも学校の情報を御覧になれます。（<http://aichi.mgxis.jp/myschool/default.asp>）

4 海外帰国生徒選抜について

愛知県立中村高等学校普通科、愛知県立豊田西高等学校普通科、愛知県立豊橋東高等学校普通科、名古屋市立名東高等学校国際英語科、愛知県立千種高等学校国際教養科及び愛知県立刈谷北高等学校国際教養科において、原則として継続して2年以上海外に保護者とともに在住し、帰国後2年以内の生徒（平成31年3月に卒業見込みの者を含みます。）を対象に実施します。ただし、海外帰国生徒選抜に出願する高等学校・学科を第1志望として、一般選抜にも出願し、一般選抜の学力検査（5教科）を受検します。海外帰国生徒選抜の合格判定には、国語、数学、外国語（英語）の3教科の成績と調査書等の提出書類、面接等の結果を資料として用います。なお、出願の前に愛知県教育委員会教育長の承認が必要です。

（中村高等学校普通科は尾張学区に居住する場合、豊田西高等学校普通科及び豊橋東高等学校普通科は三河学区に居住する場合に受検可能です。ただし、学区の調整区域である日進市、愛知郡東郷町に居住する人は豊田西高等学校を受検することができます。名東高等学校国際英語科、千種高等学校国際教養科及び刈谷北高等学校国際教養科は県内であれば居住地にかかわらず受検できます。）

5 推薦選抜への出願について

推薦選抜は、全ての高等学校・学科（全日制課程）で、中学校卒業見込み者を対象に実施しており、海外日本人学校卒業見込み者も対象としております。具体的な推薦基準等については各高等学校が別に定めています。推薦選抜を希望する場合は、12月以降に日本人学校長から志願先の高等学校長へ直接連絡をとって相談していただくようお願いいたします。

なお、推薦選抜の志願者は、志願先の高等学校の一般選抜に第1志望として出願することになります。

6 調査書の作成について

日本人学校において、愛知県所定の用紙により作成していただきます。学習の記録は、第3学年の評定を記入します。評定は、中学校学習指導要領の目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）による5段階の評定を記入することとなっています。

7 Q & A （よくあるご質問）

Q 1 体験入学はいつ行われますか。

受検を希望する高等学校に直接お問い合わせください。

Q 2 学区はありますか。

普通科は尾張・三河の2学区、専門学科及び総合学科は全県1学区となっています。普通科の場合、居住地により原則として尾張学区または三河学区の学校を受検することになります。

Q 3 海外日本人学校からの受検者は不利になりますか。

入学者選抜は全ての受検者に対して、公平・公正に行われます。海外からの受検者が不利に扱われることはありません。

Q 4 保護者が受検生と一緒に帰国できないのですが、受検できますか。

勤務の関係で4月当初からは保護者とともに帰国して県内に居住することができないが、近い将来、保護者とともに県内に居住予定の場合は、保護者に代わる者の「身元引受承諾書」（書式については願書等とともに配付する「愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」に記載）の提出が必要です。

Q 5 郵送により出願できますか。

郵送による出願もできますが、海外からの郵便事情等もあり、できる限り持参してください。なお、郵送する場合は受検票の受け取り方法等について、志願先高等学校と事前に打ち合わせをしてください。

Q 6 海外日本人学校からは海外帰国生徒選抜しか受検できないのですか。

海外帰国生徒選抜と一般選抜、または推薦選抜と一般選抜、または一般選抜のみを受検することができます。ただし、海外帰国生徒選抜と推薦選抜に同時に申し込むことはできません。